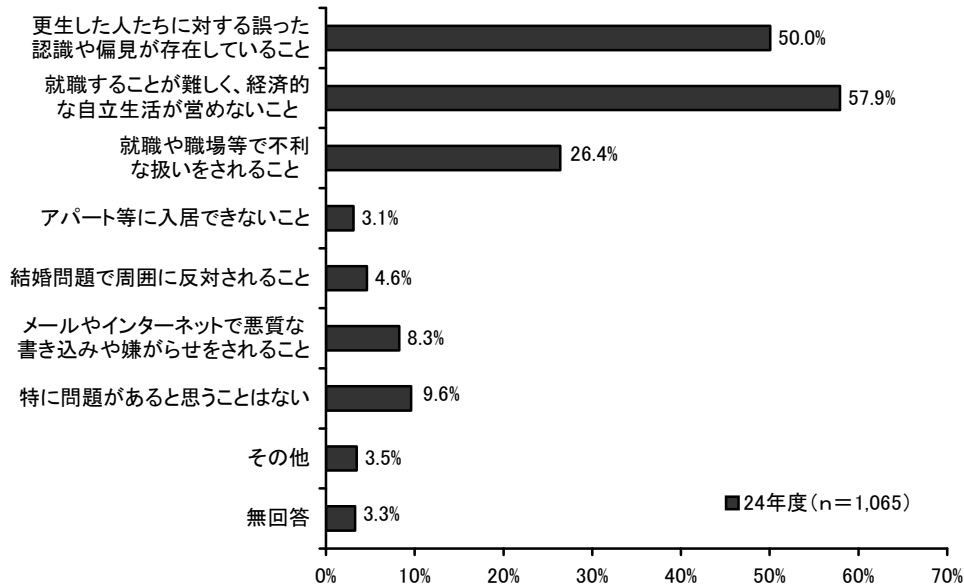


3-10 刑を終えて出所した人の人権について

(1) 罪や非行を犯した人が、罪をつぐない社会復帰する場合、問題があると思うこと

問41 罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会復帰を図ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。以下の中から2つまで選んで○をつけてください。

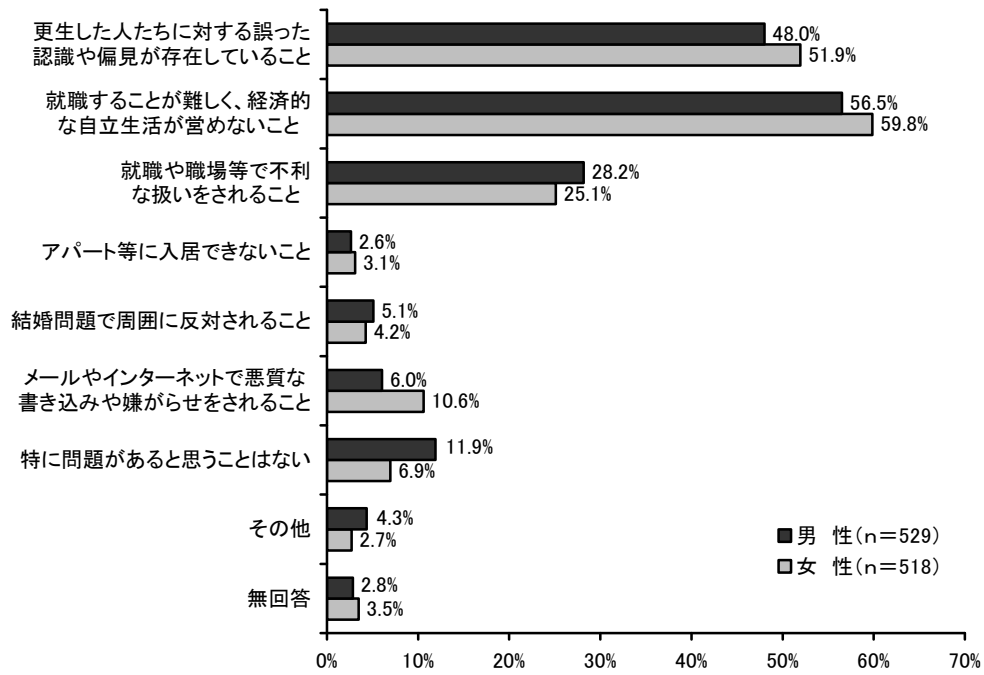


■ 「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」が57.9%と最も高く、次いで「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が50.0%、「就職や職場等で不利な扱いをされること」が26.4%の順となっている。

【前回比較】

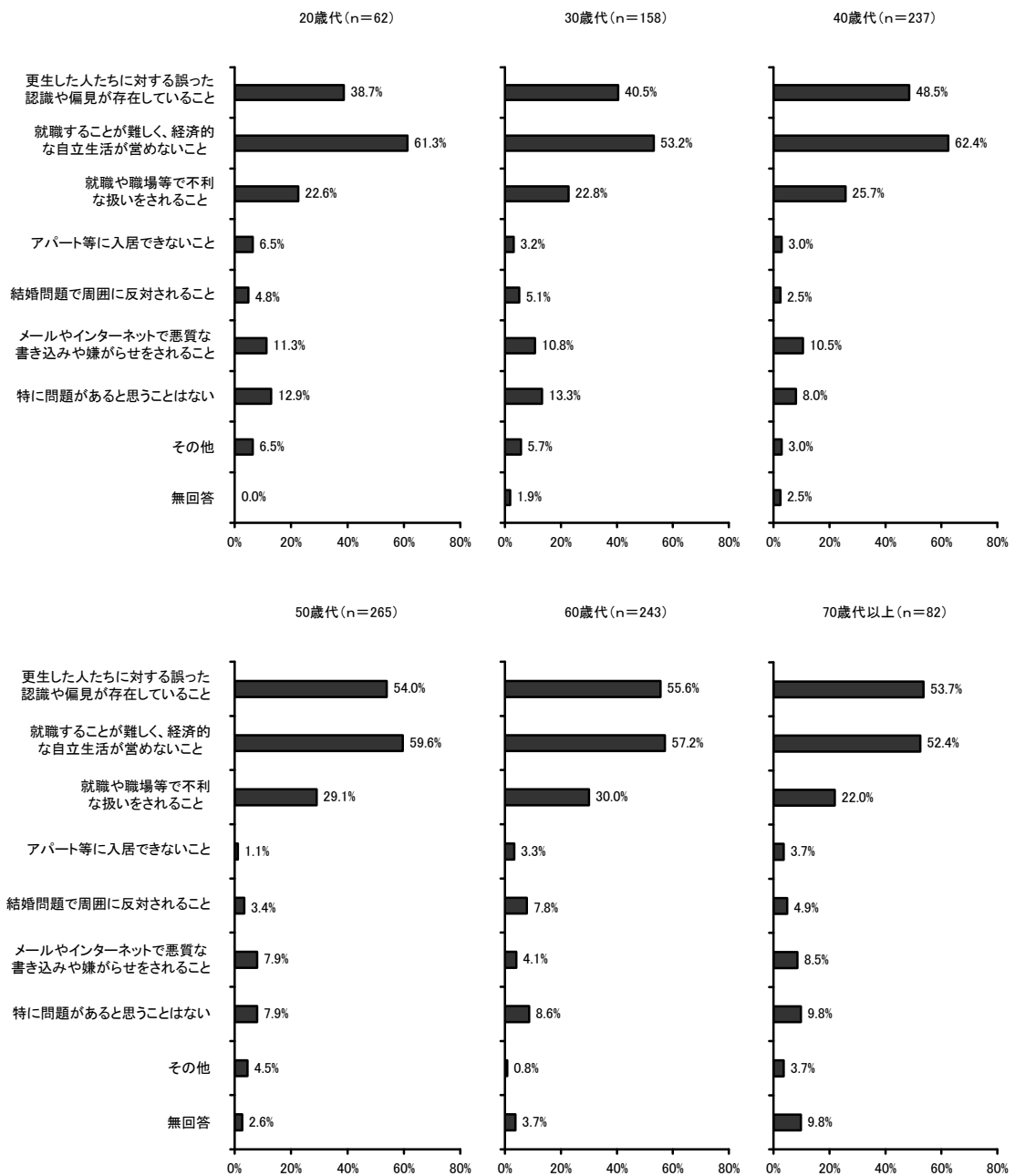
※新たに追加した質問のため、比較はできない。

男女別



■男女間で大きな違いはみられないが、「特に問題があると思うことはない」の割合は男性がやや高い。

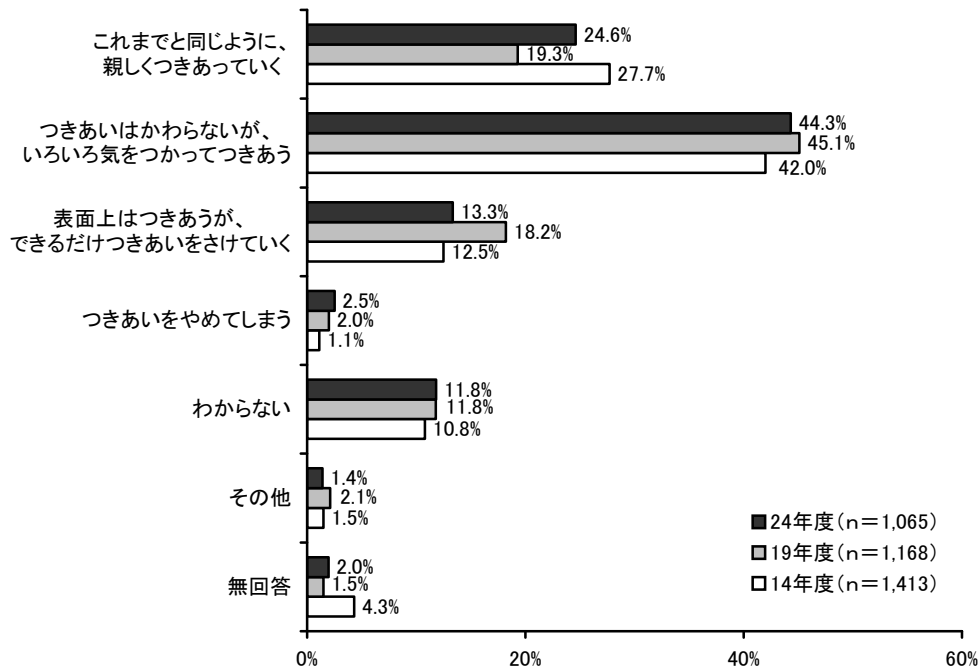
年代別



■ 「更生した人々に対する誤った認識や偏見が存在していること」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

(2) 日頃親しくしている人が、刑を終えて出所した人だとわかったときの対応

問42 日頃から親しくつきあっている職場の人や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたはどのようにしますか。あなたのお気持ちにいちばん近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

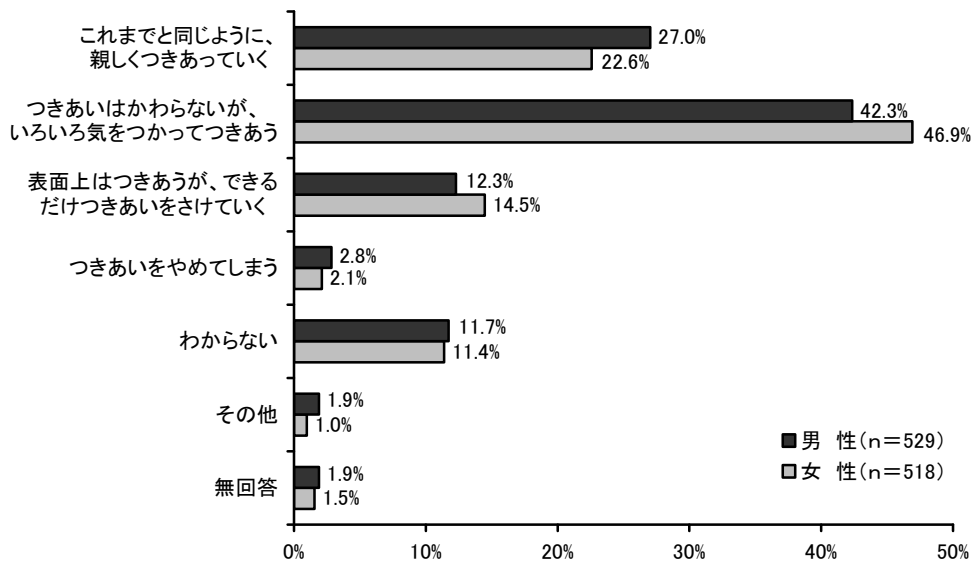


- 「つきあいはかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」が44.3%と最も高く、次いで「これまでと同じように親しくつきあっていく」が24.6%となっている。
- 「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」が13.3%、「つきあいをやめてしまう」が2.5%で“つきあい方が変わる”人は15.8%であった。

【前回比較】

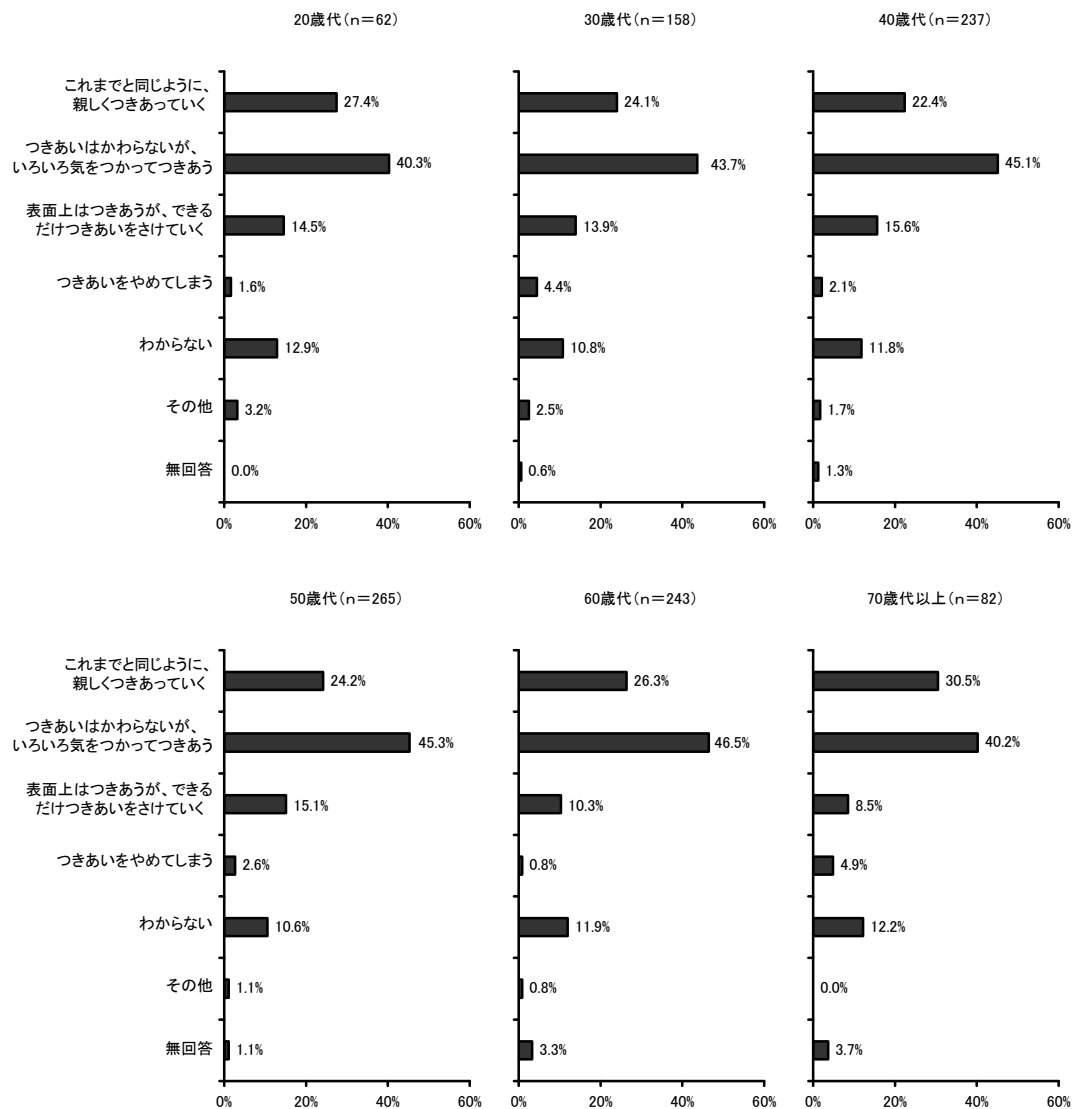
- 「これまでと同じように親しくつきあっていく」は前回に比べ5.3ポイント増加しており、「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」は4.9ポイント減少している。

男女別



■ 「これまでと同じように親しくつきあっていく」の割合は男性が、「つきあいはかわらないが、いろいろ気をつけてつきあう」の割合は女性がやや高い。

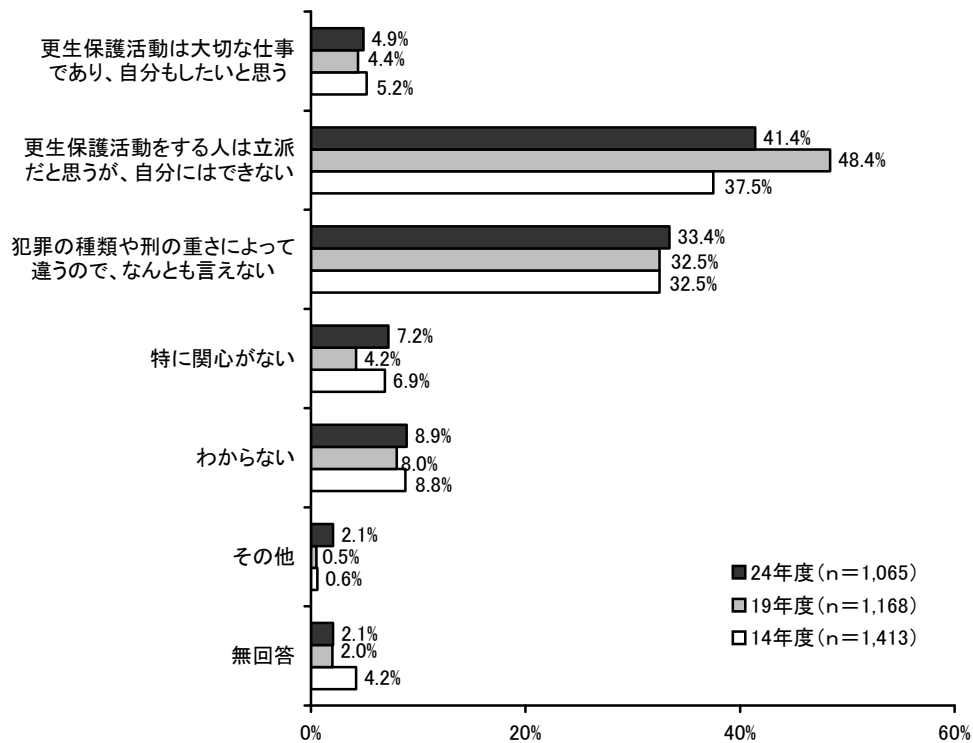
年代別



■ 「表面上はつきあうが、できるだけつきあいをさけていく」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

(3)「更生保護」活動への参加呼びかけに対する対応

問43 刑を終えて出所した人たちが社会に復帰するのを援助する「更生保護」活動をしている人たちがいます。もし、「更生保護」活動をしませんかと呼びかけられたら、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えにいちばん近いものを1つだけ選んで○をつけてください。

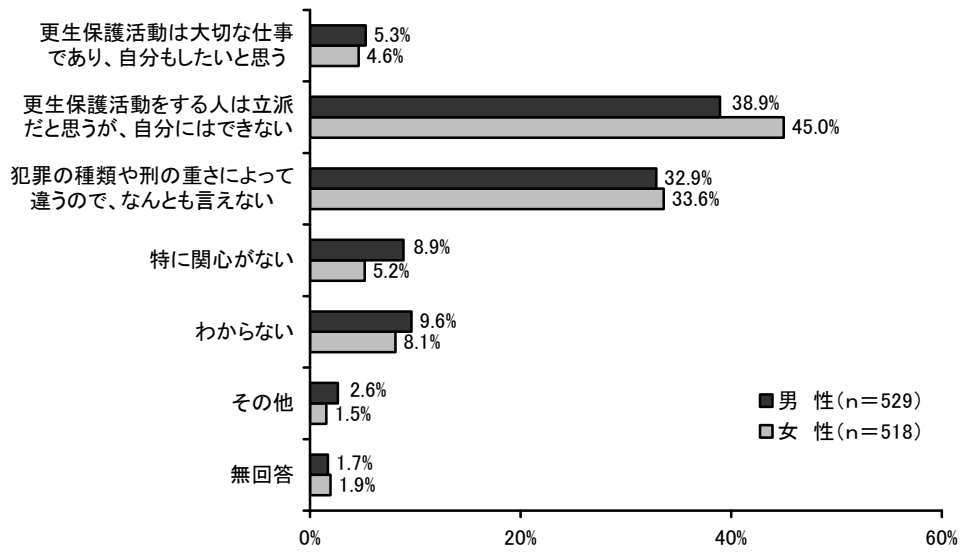


- 「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」が41.4%と最も高く、次いで「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、なんとも言えない」が33.4%となっている。
- 「更生保護活動は大切な仕事であり、自分もしたいと思う」は4.9%にとどまっている。

【前回比較】

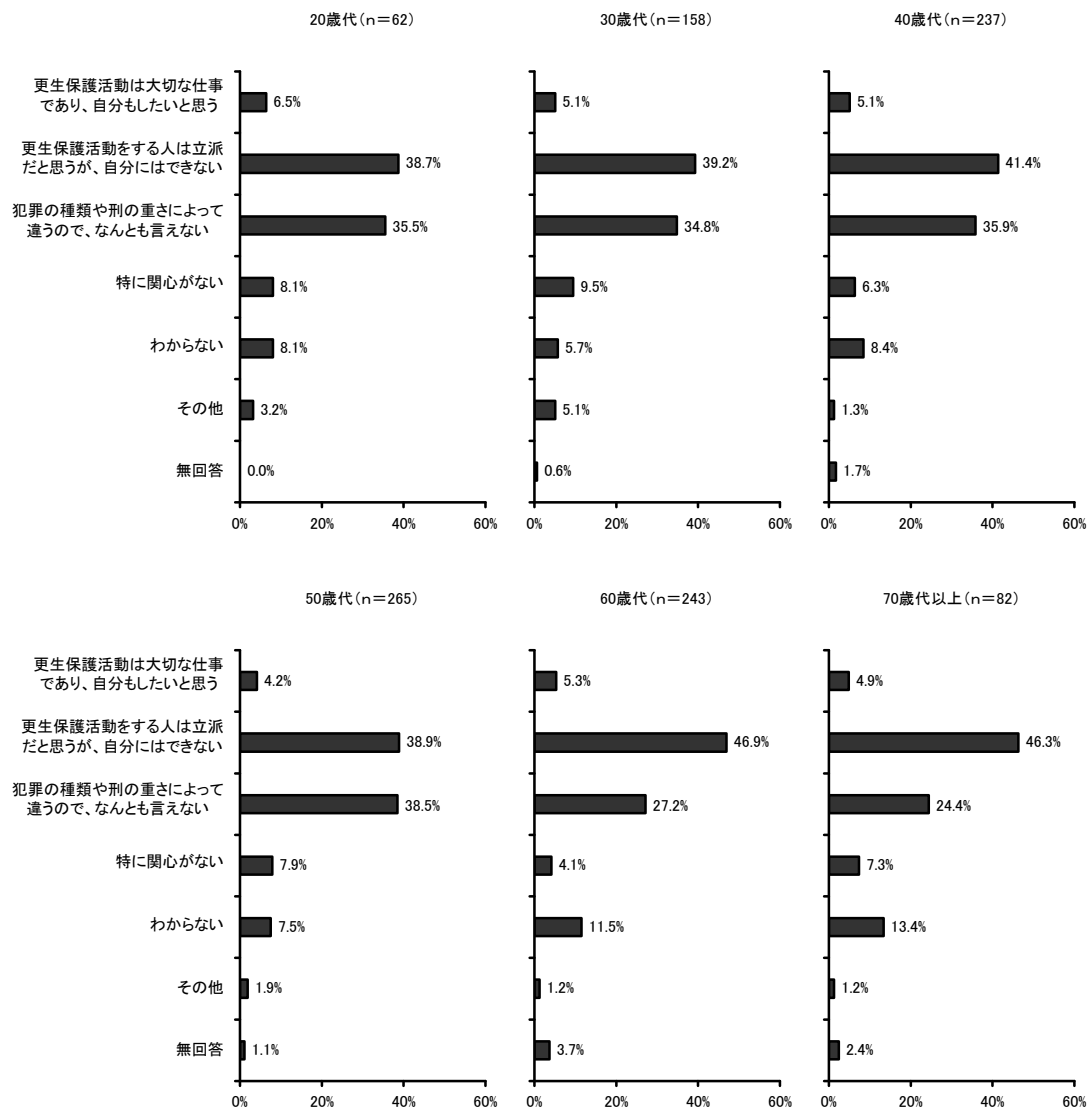
- 「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」は前回に比べ7.0ポイント減少しており、「特に関心がない」は3.0ポイント増加している。

男女別



■ 「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」の割合は女性が、「特に関心がない」の割合は男性がやや高い。

年代別



■年代別で大きな違いはみられない。